



# 弘前公園北エリアガイドマップ

北(玄武)

東(青龍)

西(白虎)

南(朱雀)

弘前観光玄武の会

国立公文書館蔵 津軽弘前城之絵図 1645(正保2)年

## 弘前城北の物語 —北門から始まる弘前—

時は1600(慶長5)年9月15日。  
 美濃国不破郡関ヶ原において、毛利輝元を総大将とする西軍と、徳川家康率いる東軍による天下分け目の一大決戦が行われました。この戦いで東軍に与した津軽為信は、戦後、新たに開かれた徳川幕府より、津軽一帯の所領安堵を得ることに成功します。そして為信は、かねてより構想していた新たな城と城下町の建設に着手。1603(慶長8)年頃、当時「高岡」と呼ばれていた、現在の弘前公園一帯をその地に定め、築城を開始しました。築城当時、高岡から江戸へ向かう主要な街道は、西浜街道と呼ばれる道のみ。岩木山を迂回し、日本海側の鯉ヶ沢を経て、秋田県境の大間越を抜けるこの道は、城の北側へと通じていました。そのため弘前城の正門は、現在の北門(亀甲門)に定められ、城を守る最前線として、門前には下級武士を中心とする武家屋敷群が最初に整備されたのです。現在、弘前公園北側一帯は、通称「仲町」と呼ばれ、全国で17番目に選定された伝統的建造物群保存地区となっています。

地区内には、現在公開されている武家屋敷が4軒あり、当時の暮らしの面影を伝えています。また、表通りにあたる亀甲町には、藩政時代から続く商家や藍染屋、そして弘前の風物詩「路上アイス」の店など、古き良き弘前と、今の弘前が溶け合うように、個性豊かな店々が軒を連ねています。ゆるやかな時間が今も流れるこの町並みを、あなた自身の足で、歩いて確かめてみませんか。



### 弘前公園北エリアへのアクセス



### 【弘前観光玄武の会】が案内する「古の津軽を知る・感じる」まちあるきツアー

弘前城を守る任にあった下級武士たち、暮らしを支えた職人たち、経済を活気づけた商人たち。さまざまな身分の人々の暮らしを知るいにしへの散歩です。ガイドさんの話を聞きながら、武士の作法や今日の弘前の礎を築いた先人たちの息吹を感じてみてはいかがでしょうか。

- 時間 / 9:30~12:30 ●定員 / 1名様から催行 ●集合 / 津軽藩ねぶた村
- 予約 / インターネットは3日前まで(電話予約は前日12:00まで)
- 料金 / 4,000円(入館料等込み) ●設定 / 通年
- <お電話によるお問合せ・お申込み>
- 弘前観光玄武の会 事務局 津軽藩ねぶた村 TEL:0172-39-1511



ご予約はこちら



